



4・5月講座申込期間について

令和4年度最初の講座申込です。
受講管理システムでの申込方法や申込期間等について御注意ください。

申込期間	小・中・義務教育学校	4/4(月)~4/13(水)
	府立学校	4/4(月)~4/15(金)

来年度、総合教育センターはオンライン・オンデマンド型研修等の研修形態も計画的に実施していきます。



※受講管理システムで申込ができない教職員については、「様式1」で申し込んでください。

「令和4年度教職員研修計画」について

○ 研修講座の実施概要の見方について
(詳細は「令和4年度教職員研修計画」の51・52ページを御覧ください。)

No.	講座名	講師
1	令和4年度 4月 1日(金) 10:30~17:00 京都府総合教育センター	※講座を受講して身に付けてほしい知識・技能、目的の達成度などに、検定に及ばない内容も記載しています。
2	研修対象 教諭、主事、実、専、実(幼)・小・中・義務教育学校 ※研修は内容参照	※講座の様子や講師の言葉等を掲載しています。開催期間についての注意を記載している場合があります。
3	定員 100名	※講座の様子や講師の言葉等を掲載しています。開催期間についての注意を記載している場合があります。
4	※予定の講師、研修講座の目的を記載しています。受講対象の注意事項を記載している場合があります。	※講座の様子や講師の言葉等を掲載しています。開催期間についての注意を記載している場合があります。
5	連絡先 ※お問い合わせ・連絡先を記載しています。	※講座の様子や講師の言葉等を掲載しています。開催期間についての注意を記載している場合があります。

【研修形態】
令和4年度は、研修講座の実施概要の欄外に、その講座の研修形態をアイコンで示しています。

① 集合研修
総合教育センター等の会場に集合して、講座を受講します。

② オンライン研修
各所属校(園)にて、遠隔会議システムを利用してオンラインで講座を受講します。

③ オンデマンド研修
各所属校(園)にて、Web上の動画コンテンツを期間内に視聴し講座を受講します。



講座の資料については、ITECの「研修講座『Web研修動画・資料』」からダウンロードできます。

○ オンライン研修受講の際の留意点

講義に集中できる静かな場所で、受講する。

背景に個人情報等が映らないように気をつける。



集合研修の場合と同様に、研修にふさわしい服装を心掛ける。

マイク、カメラ機能のある端末を、1人1台準備して受講する。
(当日はカメラの映像で、ペア・グループワークや講師とのやり取り等の双方向のコミュニケーション、出欠確認を行います。)

※ オンライン受講等については、「令和4年度教職員研修計画」の151ページを御確認ください。

令和4年度 京都府教育委員会免許状更新講習について

申込期間 ※追加申込不可
4/4(月)~4/20(水)

詳細はこちら



実施講座一覧 全9講座を免許状更新講習として実施します。

番号	講座名	開催日	会場	受講対象者	受講可能な講座数
981	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅱ【免許】	8月2日(火)	センター	中堅教諭資質向上研修受講者で 免許状更新講習の受講対象者	いずれか1講座 又は2講座
982	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅲ【免許】	8月18日(木)	センター		
983	育ちと学びをつなぐ幼児教育&生活科講座Ⅱ【免許】	7月28日(木)	センター	上記以外の 免許状更新講習受講対象者	いずれか1講座
984	人権教育講座Ⅰ~外国にルーツをもつ子どもへの支援~【免許】	8月9日(火)	センター		
985	情報教育講座【免許】	8月3日(水)	センター		
986	教育相談<初級>講座~児童生徒理解と関わり~【免許】	7月28日(木)	北部		
987	特別支援教育「アセスメントを支援に生かす」講座 (コーディネータースキルアップ講座)【免許】	8月19日(金)	北部		
988	学びづくりのキャリア・マネジメント講座【免許】	8月17日(水)	北部		
989	子どもの貧困と学習支援講座【免許】	8月23日(火)	北部		

受講の流れ ※講座実施日までに、教員免許更新制が廃止された場合は、対象の9講座については、免許状更新講習としては実施しません。(詳細は実施要項で御確認ください。)

① 受講の申込
管理職は受講希望者を取りまとめ、受講管理システムで申込を行ってください。

② 申込完了の通知
総合教育センターから各学校に受講番号通知書を送付します。
5月31日(火)まで

③ 各種様式等の掲載
提出書類の様式をITECに掲載します。
6月1日(水)予定

④ 各種書類の提出
受講者は必要書類を総合教育センターに提出してください。
6月17日(金)必着

講座受講

・ 講座実施時間は10時~17時です。
・ 講座の最後に筆記試験を実施します。
・ 受講希望者が多数の場合、抽選等により人数調整を行います。



学びの直送便

今年度最後の「学びの直送便」は、「初心者・新規採用者研修」と「中堅教諭等資質向上研修」の最終講座の様子をお届けします。どちらもオンライン実施となりましたが、大変充実した研修となりました。

初心者・新規採用者研修等

令和3年度初心者・新規採用者研修等共通「教育実践」講座をオンラインで実施し、405名の初心者・新規採用者が1年目を振り返り、2年目に向けた展望をもつ機会としました。

研修で得た学びと仲間とのつながりを大切に、受講者一人一人のさらなる飛躍を期待しています。

受講者の感想

本日の他校種の方々の実践発表を聞いて、校種や教える内容に差異や違いこそあれど、本質的に大切な部分や教育の根幹は変わらないということに改めて考えました。その上で自分の一年間の成果や課題を振り返ってみると、その教育の本質的な部分と自分の技量不足に葛藤した一年だったなと感じます。来年度はもっと教科教育の方法や良い授業を突き詰めて探究していきたいと思いました。



この1年、新たな研修方法の実施にも受講者の方に柔軟に対応していただきました。これからも、学校現場の様々なニーズに応え、教職員の学びを支援するためのセンターで在り続けたいと考えます。



中堅教諭等資質向上研修

中堅教諭等資質向上研修では、京都府教員等の資質能力の向上に関する指標における観点を網羅しつつ、5回の講座を実施しました。また、今年度はコロナ対策のため、オンデマンドによる講座、対面とオンラインを組み合わせた講座等を取り入れました。

講座を通して、これまでの10年間とこれからの10年間を見据えるとともに、ミドルリーダーとしての自覚と授業力の向上を図ることが出来たと思います。受講者の皆様の、今後のさらなる活躍を期待しています。

受講者の感想

10年目研修を受けることで、自分の今までの教師人生を振り返ることができました。その上で、私には「子ども一人一人のニーズに合った指導ができるようになりたい」という目標ができました。この目標に向かって、日々、教師力を磨いていきたいと思っています。



研究紀要第11集の紹介

京都府総合教育センターでは、先進的研究の実践、今日的教育課題の調査分析等を通して、今後の京都府の学校教育の充実に役立てることを目的に研究紀要を発行しています。

■教科横断的な指導法と評価に関する研究～学習方略を組み込んだ単元デザインと評価～

KEYWORD 学習評価 考えるための技法 論証 指導と評価の一体化

■出前講座（情報教育）に求められるニーズに応えるために

KEYWORD 学校のニーズ 情報教育講座 ICT活用

■話し合い活動での合意形成を図る指導についての考察～小学校学級活動の充実を目指した資料の作成を通して～

KEYWORD 話し合い 学級会 司会 ファシリテーター

■「折れない、しなやかな心」を育てるために～レジリエンスを育む教職員の関わり～

KEYWORD レジリエンス 教職員の関わり 自分への信頼 親身

■音楽科の思考力を高めるパフォーマンス課題の開発～我が国の伝統音楽とICTをつなぐ創作課題～

KEYWORD 資質・能力の具現化 奏法 イメージ 音楽創作アプリケーション

■高等学校保健教育におけるICT活用の一考察～ICTを活用した心肺蘇生法の指導～

KEYWORD 高等学校 保健教育 ICT活用 遠隔授業



3月28日（月）に、京都府総合教育センターホームページ（ITEC）に掲載予定

アクセスはこちら

京都府総合教育センター 特別支援教育部発行 研究冊子

通常の学級に在籍する読み書きに困難のある児童生徒のICTを活用した学びの研究

研究冊子の主な掲載内容（令和4年度当初に各校へ送付予定）

- 実践事例
（授業システムの活用、テストにおけるICT活用等）
- 研究対象児童生徒のアンケート分析
- 通級指導教室担当者対象アンケート分析
- 近藤武夫先生による指導助言



従来、小・中学校を対象としてきた本研究は、令和4年度は高等学校にも参加の幅を広げます。また、大学連携による学生ボランティアを活用し、テストや学習教材のデジタル化に取り組みます。

本研究では、【読み】や【書き】について困難のある児童生徒へICTを活用した学習の一連の取組を通して、【個別最適な学び】を目指した挑戦を行いました。

小・中・義務教育学校・高等学校のためのプロジェクト研究報告・説明会

【日時】令和4年4月18日（月）午後3時30分～同5時

【場所】京都府総合教育センター（Web参加可能）

指導助言者に東京大学先端科学技術研究センターの近藤武夫氏をお招きして開催します。

読み書きに困難のある児童生徒の課題解決のために、ICT活用を試してみたいとお考えの方は、どうぞ御参加ください。

申込の詳細については、新年度に各校に送付する案内を御覧ください。